

平成21年度紙リサイクルセミナー

平成21年度の「紙リサイクルセミナー」を10月30日に、会場を従来の発明会館ホールから東京商工会議所国際会議場に替えて開催した。講演は、「中国における最近の古紙動向について」、当センターが平成18年より取り組んでいる「古紙業者の古紙品質管理能力の評価基準と評価制度に関する検討経過について(古紙品質管理マニュアルについて)」、当センターが毎年実施している地方公共団体古紙関連施策等の実態調査を多年度に亘ってまとめた「地方自治体の古紙関連施策の推移と現状について」をテーマに話していただいた。

開催日時 平成21年10月30日(金)
13時30分から15時55分
開催会場 東京商工会議所国際会議場
主催 財団法人古紙再生促進センター
後援 経済産業省
参加 一般事業者、紙・板紙製造業界、
古紙回収・流通業界、その他関係業界、
地方自治体ほか
参加人数 270名



<セミナー>

司会 木村 朋美 (株)NTTデータ研究所
開会挨拶 石田 隆 (財)古紙再生促進センター 理事長

講演 I 「中国における最近の古紙動向について」
王 長 君 (株)NTTデータ経営研究所 シニアコンサルタント

II 「古紙業者の古紙品質管理能力の評価基準と評価制度に関する検討経過について
(古紙品質管理マニュアルについて)」
西 原 弘 (有)サステイナブル・デザイン研究所 代表取締役

III 「地方自治体の古紙関連施策の推移と現状について」
小笠原 秀信 (有)グローバルプランニング 取締役

閉会挨拶 栗原 正雄 (財)古紙再生促進センター 副理事長
(全国製紙原料商工組合連合会理事長)